

科目区分	助産診断・技術学	授業科目	妊娠期の助産診断・技術学
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1 単位(30 時間)	開講年次	1 年次
目的: 妊娠経過及び母児の健康状態の判断に必要な基本的知識及び技術を習得する。 目標: 1 妊娠経過及び母児の健康状態の判断に必要な助産技術を習得する。 2 妊娠期の診断を理解する。 3 臨床判断モデルの思考をとおして、妊娠各期の妊婦及び家族に必要なケアを理解する。			
授業計画			
単元	時間	内 容	
1 臨床判断	1	1 臨床判断モデルとは (1)臨床判断と臨床推論 (2)臨床判断モデルの概要(気づき、解釈、反応、省察)	
2 妊娠期の助産診断及び助産技術	4	1 妊娠期のマタニティ診断の特徴 (1)経過診断 ①妊娠の確定 ②分娩予定日・妊娠時期 ③母体の状態 ④胎児の状態 ⑤胎児附属物の状態 (2)健康生活診断 ①基本的生活行動 ②精神・心理的生活行動 ③社会的生活行動 ④出産育児行動 2 健康診査技術 (1)問診 (2)外診(視診、触診、計測診、聴診) (3)内診	
3 妊婦と家族への支援	24	1 日常生活適応へのケア (1)栄養 (2)排泄 (3)活動・休息 (4)清潔 (5)性生活 (6)マイナートラブル (7)母乳育児に向けた支援 2 心理・社会的側面へのケア (1)親役割の準備への支援 ①母親役割への適応のための支援 ②父親役割への適応のための支援 ③家族役割機能の変化に対する支援 ④出産・育児準備 (2)社会資源の活用への支援 ①妊娠に関する母子保健事業 ②就労女性への支援	
評価	1	試験	
評価方法		出席状況、演習の参加状況、レポート、筆記試験	

テキスト 参考資料	医学書院:助産学講座 6 助産診断・技術学Ⅱ[1]妊娠期 日本看護協会出版会:助産師基礎教育テキスト4 妊娠期の診断とケア 医学書院:実践マタニティ診断 医学書院:マタニティ診断ガイドブック 産婦人科診療ガイドライン産科編 2023 日本助産師会:助産業務ガイドライン2024 南江堂:今日の助産 メディックメディア:病気がみえる⑩産科 インターメディカ:新訂版 写真でわかる助産技術アドバンス メディカ出版:ペリネイタルケア2021年夏季増刊 妊婦健診と保健指導/パワーアップガイド メディカ出版:ペリネイタルケア2024年冬季増刊 最新図解でよくわかる お母さんと赤ちゃんの生理とフィジカルアセスメント サイオ出版:周産期ケアマニュアル 医学書院:助産師のためのフィジカルイグザミネーション 第2版
履修上の 留意事項	単元3「妊婦と家族への支援」は、演習をとおして学習する。
備 考	

科目区分	助産診断・技術学	授業科目	分娩期の助産診断・技術学Ⅰ
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	2 単位(30 時間)	開講年次	1 年次
目的: 分娩経過及び母児の健康状態の判断に必要な基本的知識及び技術を習得する。 目標: 1 分娩経過及び母児の健康状態の判断に必要な助産技術を習得する。 2 分娩期の診断を理解する。 3 臨床判断モデルの思考をととして、分娩各期の産婦及び家族に必要なケアを理解する。			
授業計画			
単元	時間	内 容	
1 分娩期の助産診断及び助産技術	5	1 分娩期のマタニティ診断の特徴 (1)経過診断 ①分娩時期 ②分娩開始 ③分娩経過 ④分娩3要素 ⑤分娩機転(回旋) ⑥母体の状態 ⑦胎児の状態 ⑧分娩予測 ⑨分娩直後の状態 (2)健康生活診断 ①基本的生活行動 ②精神・心理的生活行動 ③社会的生活行動 ④出産育児行動 2 健康診査技術 (1)問診 (2)外診(視診、触診、計測診、聴診) (3)内診	
2 産婦と家族への支援	24	1 産婦支援の基本 (1)産婦の意思・主体性の尊重 (2)産婦と家族中心のケア (3)心身の苦痛の緩和 (4)正常逸脱の予防 2 分娩経過に沿ったケア (1)分娩第1期のケア ①基本的欲求の充足 ②出産環境への配慮 ③産痛緩和 ④分娩進行の促進 ⑤家族への支援 (2)分娩第2・3期のケア ①基本的欲求の充足 ②呼吸法・リラクゼーションの誘導 ③必要時の怒責誘導 ④出血量に応じた体位の調整 (3)分娩後2時間までのケア ①出血・子宮復古状態の観察 ②基本的欲求の充足 ③母子の早期接触 ④母子と家族との対面 ⑤産婦・家族の分娩体験の想起	
評価	1	試験	
評価方法	出席状況、演習レポート、筆記試験		
テキスト 参考資料	医学書院:助産学講座7助産診断・技術学Ⅱ[2]分娩期・産褥期 日本看護協会:助産師基礎教育テキスト5 分娩期の診断とケア 日本産婦人科学会:産婦人科診療ガイドライン産科編 2023 日本助産師会出版:助産業務ガイドライン2024 医学書院:実践マタニティ診断 南江堂:今日の助産 医学書院:助産師のためのフィジカルイグザミネーション 第2版 インターメディカ:新訂版 写真でわかる助産技術アドバンス メディカ出版:THE 分娩 メディックメディア:病気がみえる⑩産科 メディカ出版:ペリネイタルケア2024年冬季増刊 最新図解でよくわかる お母さんと赤ちゃんの生理とフィジカルアセスメント		
履修上の 留意事項	単元2「産婦と家族への支援」は、演習をととして学習する。		
備 考			

科目区分	助産診断・技術学	授業科目	分娩期の助産診断・技術学Ⅱ
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	2 単位(30 時間)	開講年次	1 年次
目的: 分娩経過に沿って一連の分娩介助技術を習得し、産婦の状況に応じた介助法を理解する。 目標: 1 基本的な分娩介助技術を習得する。 2 分娩に携わる多職種の専門性を尊重し、役割調整(コミュニケーション)の重要性を理解する。 3 フリースタイル分娩の介助技術を理解する。			
授業計画			
単元	時間	内 容	
1 仰臥位の分娩介助技術	25	1 分娩介助の意義・原理 (1) 分娩介助の意義 (2) 分娩介助の原理 ①分娩時の姿勢と分娩進行 ②分娩体位 ③呼吸法 ④怒責の誘導と必要性 2 仰臥位分娩の介助技術 (1)分娩介助の準備 ①分娩室の整備・準備 ②手指消毒 ③外陰部消毒 ④ガウンテクニック ⑤清潔野作成 (2)分娩介助の実際 ①導尿 ②肛門圧迫・保護 ③人工破膜 ④会陰保護 ⑤児頭娩出 ⑥肩甲娩出 ⑦軀幹娩出 ⑧第一呼吸の助成 ⑨臍帯切断、臍処置 ⑩臍帯血採取 ⑪胎盤娩出 ⑫分娩損傷の点検 3 分娩直後の産婦へのケア (1)外陰部の清拭 (2)分娩終了時オリエンテーション 4 出生直後の新生児のケア (1)出生直後の新生児のケア ①呼吸の確立 ②全身の観察(外表奇形の観察) ③保温 ④点眼 ⑤母児対面 5 胎児付属物の観察方法 (1)胎児付属物の精査 ①観察項目・観察方法 ②胎内環境の評価 6 分娩に携わる他職種との連携 (1)間接介助の役割 (2)新生児受けの役割 (3)医師・新生児科医師との連携	
2 フリースタイルの分娩介助技術	4	1 フリースタイル分娩の分娩介助 (1)側臥位 (2)四つん這い (3)座位 (4)蹲踞位 (5)立位	
評価	1	試験	
評価方法		出席状況、レポート、筆記試験、技術試験	
テキスト 参考資料		医学書院:助産学講座7助産診断・技術学Ⅱ[2]分娩期・産褥期 日本看護協会:助産師基礎教育テキスト5 分娩期の診断とケア 医学書院:助産師のためのフィジカルイグザミネーション 第2 版 インターメディカ:新訂版 写真でわかる助産技術アドバンス 南江堂:今日の助産 メディカ出版:THE 分娩	
履修上の 留意事項			
備 考			

科目区分	助産診断・技術学	授業科目	産褥期の助産診断・技術学
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1 単位(30 時間)	開講年次	1 年次
目的: 産褥経過及び健康状態の判断に必要な基本的知識及び技術を習得する。 目標: 1 産褥経過及び健康状態の判断に必要な助産技術を習得する。 2 産褥期の診断を理解する。 3 臨床判断モデルの思考をとおして、産褥期の褥婦及び家族に必要なケアを理解する。			
授業計画			
単元	時間	内 容	
1 産褥期の助産診断及び助産技術	3	1 産褥期のマタニティ診断の特徴 (1)経過診断 ①産褥日数 ②産褥経過 ③母体の状態 (2)健康生活診断 ①基本的生活行動 ②精神・心理的生活行動 ③社会的生活行動 ④出産育児行動 2 健康診査に必要な技術 (1)問診 (2)外診 (3)内診	
2 褥婦と家族への支援	26 (8)	1 正常経過にある褥婦の乳房管理のためのアセスメントとケア (1)母乳栄養確立の診断 (2)母乳栄養確立へのケア (3)育児行動取得に対するケア 2 健康逸脱・異常状態およびハイリスク状態にある褥婦の乳房管理のためのアセスメントとケア (1)異常状態・合併症の予防とケア (2)特殊な状況にある褥婦のケア 3 退行性変化を促す支援 4 褥婦のセルフケア能力を高める支援 (1)休息と活動 *2時間(演習を含む) ①産褥体操 ②骨盤ケア (2)栄養 (3)排泄 (4)清潔 5 母親役割取得への支援 (1)心理過程 (2)愛着形成 (3)育児行動 (4)母親役割取得に影響する因子 (5)家族のサポート 6 家族関係の再構築 7 自己選択の支援 (1)授乳方法選択への支援 (2)家族計画の支援 8 家庭・社会生活復帰への支援	
評価	1	試験	
評価方法		出席状況、演習の参加状況、レポート、筆記試験	

テキスト 参考資料	医学書院:助産学講座7助産診断・技術学Ⅱ【2】[分娩期・産褥期] 日本看護協会出版会:助産師基礎教育テキスト6 産褥期のケア 医学書院:実践マタニティ診断 南江堂:今日の助産 医学書院:助産師のためのフィジカルイグザミネーション インターメディカ:写真でわかる助産技術アドバンス 日本助産師会出版:助産業務ガイドライン2024 医学書院:母乳育児支援スタンダード へるす出版:よくわかる母乳育児 母子保健事業団:授乳・離乳の支援ガイド 実践の手引き メディックメディア:病気がみえる⑩産科 メディカ出版:ペリネイタルケア2024年冬季増刊 最新図解でよくわかる お母さんと赤ちゃんの生理とフィジカルアセスメント
履修上の 留意事項	単元2「褥婦と家族への支援」は、演習をとおして学習する。
備 考	

科目区分	助産診断・技術学	授業科目	新生児期の助産診断・技術学
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1 単位(30 時間)	開講年次	1年次
目的: 新生児期の経過及び健康状態の判断に必要な基本的知識及び技術を習得する。 目標: 1 出生後の経過及び健康状態の判断に必要な助産技術を習得する。 2 新生児期の診断を理解する。 3 臨床判断モデルの思考をとおして、ハイリスク児を含む新生児及び家族に必要なケアを理解する。			
授業計画			
単元	時間	内 容	
1 新生児期の助産診断及び助産技術	3	1 新生児期のマタニティ診断の特徴 (1)経過診断 ①日齢 ②出生直後の状態 ③早期新生児の状態 ④新生児の経過 (2)健康生活診断 ①養護 ②環境 2 健康診査技術 (1)外診 (2)視診 (3)触診 (4)聴診 (5)計測診	
2 新生児と家族への支援	17	1 出生時のケア (1)リスク因子の確認 (2)蘇生の必要性の評価とケア方針の決定 (3)ルーチンケア 2 出生後 24 時間以内のケア (1)アセスメント (2)出生後の身体清潔 (3)呼吸と体温の維持 (4)哺乳と排泄 (5)与薬 (6)母親との相互作用や家族とのかかわり (7)感染予防 (8)新生児の安全確保 3 出生後 24 時間以降の早期新生児のケア (1)呼吸・循環・体温 (2)睡眠・覚醒リズム (3)栄養 (4)皮膚の清潔 (5)新生児黄疸 (6)新生児マススクリーニング 4 家庭生活への移行とフォローアップ (1)退院に向けての準備 (2)退院から健診までの育児支援	

3 ハイリスク 新生児と家 族のケアの 基本	3	1 新生児の異常徴候と疾患 (1)新生児の異常徴候 (2)新生児の疾患 2 呼吸循環障害 (1)新生児仮死 (2)呼吸窮迫症候群 (3)胎便吸引症候群 (4)母子関係確立への援助 3 分娩損傷 4 黄疸 5 低出生体重児と親へのケア (1)低出生体重児・早産児の定義と分類 (2)低出生体重児へのケア (3)低出生体重児・早産児の親へのケア (4)低出生体重児の予後とフォローアップ 6 ハイリスク新生児の母乳育児支援 (1)早産児と母乳 (2)搾乳方法および母乳の管理法 7 ハイリスク新生児のデベロップメンタルケア (1)新生児の神経発達 (2)デベロップメンタルケア (3)デベロップメンタルケアの実際
4 新生児の 蘇生	6	1 新生児の蘇生 (1)新生児蘇生に必要な呼吸循環動態の基礎知識 (2)蘇生のステップと新生児蘇生法の実際
評価	1	試験
評価方法	出席状況、演習の参加状況、レポート、筆記試験	
テキスト 参考資料	医学書院:助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ【3】新生児期・乳幼児期 日本看護協会出版会:6 産褥期のケア新生児期・乳幼児期のケア 日本看護協会出版会:7 ハイリスク妊産褥・新生児へのケア 医学書院:実践マタニティ診断 医学書院:助産師のためのフィジカルレグザミネーション 医学書院:乳幼児健診マニュアル 南江堂:最新育児小児病学 南江堂:今日の助産 日本助産師会出版:助産業務ガイドライン2024 メディックメディア:病気がみえる⑩産科 メジカルビュー社:新生児蘇生法テキスト インターメディカ:新訂版 写真でわかる助産技術アドバンス メディカ出版:ペリネイタルケア2024年冬季増刊 最新図解でよくわかる お母さんと赤ちゃんの生理とフィジカルアセスメント	
履修上の 留意事項	単元2「新生児と家族への支援」は、演習をととして学習する。 単元4「新生児の蘇生」は、NCPR の A コースを行う。	
備 考		

科目区分	助産診断・技術学	授業科目	ハイリスク妊産褥婦の助産診断・技術学
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30 時間)	開講年次	1 年次
目的: ハイリスク・異常状態にある妊産褥婦の経過及び健康状態の判断に必要な基本的知識及び技術を習得する。 目標: 1 ハイリスク・異常妊産褥婦の助産診断を理解する。 2 ハイリスク・異常妊産褥婦の支援方法を理解する。			
授業計画			
単元	時間	内 容	
1 ハイリスク・異常妊婦のアセスメントと支援	10	ハイリスク・異常妊婦へのアセスメントと支援方法を理解する。 1 身体的ハイリスク因子のアセスメント 2 心理的社会的ハイリスク因子のアセスメント 3 異常妊娠・ハイリスク妊婦のケア (1)妊娠悪阻 (2)切迫流産 (3)前期破水 (4)妊娠高血圧症候群 (5)妊娠性貧血 (6)妊娠糖尿病 (7)前置胎盤 (8)常位胎盤早期剥離 (9)多胎妊娠 (10)骨盤位 (11)子宮内胎児死亡 (12)若年妊娠 高齢妊娠 (13)帝王切開既往妊婦 4 心理的問題を持つ妊婦へのケア (1)妊娠の受け入れ困難 (2)出産に対する不安 (3)胎児との愛着形成困難 (4)被虐待経験者	
2 ハイリスク・異常産婦のアセスメントと支援	15	1 身体的ハイリスク因子のアセスメント 2 心理的ハイリスク因子のアセスメント 3 異常分娩・偶発疾患のアセスメント 4 ハイリスク・異常産婦のケア (1)娩出力の異常 (2)産道の異常 (3)胎位の異常 (4)回旋の異常 (5)胎児機能不全 (6)胎児付属物の異常 (7)肩甲難産 (*緊急時の助産診断・技術学で演習) (8)異常出血 (9)胎児に起因する難産 (10)子癇 (11)羊水塞栓 (12)播種性血管内血液凝固症候群(DIC) (13)分娩損傷 5 産科手術の介助とケア (1)急速遂娩法 (2)吸引分娩 (*緊急時の助産診断・技術学で演習)	

		(3)鉗子分娩 (4)骨盤位牽出術 (5)帝王切開術（＊帝王切開前後のケアについて事例展開5時間） 6 母児の救急搬送時の対応 (1)助産師の役割と業務 (2)周産期医療システム (3)救急搬送の実際 (4)異常出血の対応 7 心理社会的ハイリスク産婦と家族へのケア
3 ハイリスク・異常褥婦のアセスメントと支援	4	1 身体的ハイリスク因子のアセスメント 2 心理社会的ハイリスク因子のアセスメント 3 不快症状の緩和へのケア 4 産褥期の異常と合併症の予防 (1)産褥出血 (2)子宮復古不全 (3)産褥熱 (4)恥骨結合離開 (5)静脈瘤および血栓性静脈炎 (6)深部静脈血栓症・肺塞栓症 (7)感染症 (8)妊娠高血圧症後遺症 (9)乳頭損傷・乳腺炎 5 心理的異常をもつ褥婦のケア 6 特殊な状態にある褥婦へケア 7 母乳育児を行えない/行わない母親の支援 8 母子愛着形成の障害、児の虐待ハイリスク要因の早期発見と支援
評価	1	試験
評価方法	出席状況、演習の参加状況、レポート、筆記試験	
テキスト 参考資料	医学書院:助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ[1]妊娠期 医学書院 医学書院:助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ[2]分娩期・産褥期 医学書院 日本看護協会出版会:7 ハイリスク妊産婦・新生児へのケア 日本産婦人科学会 :産婦人科診療ガイドライン産科編2023 日本助産師会出版:助産業務ガイドライン2024 メディカ出版:母体急変時の初期対応 メディックメディア:病気がみえる⑩産科 帝王切開バイブル インターメディカ:新訂版 写真でわかる助産技術アドバンス メディカ出版:ペリネイタルケア2024年冬季増刊 最新図解でよくわかる お母さんと赤ちゃんの生理とフィジカルアセスメント	
履修上の 留意事項		
備 考		

科目区分	助産診断・技術学	授業科目	緊急時の助産診断・技術学
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(15時間)	開講年次	1 年次
目的: ハイリスク・異常状態にある妊産褥婦の緊急対応に必要な基本的知識及び技術を理解する。 目標: 1 胎児管理に必要な超音波検査と画像の見方を理解する。 2 分娩期の急速遂娩及び緊急対応の実際を理解する。 3 臨末判断モデルの思考をとおして、母体急変時に必要な対応を理解する。			
授業計画			
単元	時間	内 容	
1 緊急対応	14 (2) (2) (2) (3) (5)	1 緊急対応の実際 (1)妊娠期から分娩期(胎児管理:超音波検査と画像の見方) (2)分娩期(娩出時の対応:肩甲難産) (3)分娩期(急速遂娩への対応:吸引分娩) (4)分娩期(緊急対応:会陰切開術・会陰縫合の実際) (5)産科救急(母体急変への対応の実際) ①正常経産分娩後に出血が増加した褥婦 ②陣痛室で急激な下腹部痛を訴え始めた妊婦 ③分娩進行に伴って息苦しさを覚え始めた妊婦 その他	
評価	1	試験	
評価方法		出席状況、演習の参加状況、レポート、筆記試験	
テキスト 参考資料		医学書院:助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ[1]妊娠期 医学書院:助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ[2]分娩期・産褥期 医学書院:助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ[3]新生児期・乳幼児期 日本看護協会出版会:7 ハイリスク妊産褥・新生児へのケア 日本産婦人科学会:産婦人科診療ガイドライン産科編2023 日本助産師会出版:助産業務ガイドライン2024 メディカ出版:母体急変時の初期対応 メディカ出版:THE 分娩 インターメディカ:新訂版 写真でわかる助産技術アドバンス	
履修上の 留意事項			
備 考			

科目区分	助産診断・技術学	授業科目	健康教育技法 I
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1 単位(30 時間)	開講年次	1 年次
目的: ライフサイクルにおける健康支援に必要な基礎的教育技法を習得する。 目標: 1 健康教育活動に必要な教育・相談技術を理解する。 2 健康教育の目的及び健康教育のプロセスを理解する。 3 セクシュアリティ教育を企画・展開する技法を習得する。			
授業計画			
単元	時間	内 容	
1 教育技術	5	1 教育と学習の理論 *受胎調節実地指導員認定講義(5) 2 健康教育の理論 3 教育の方法 4 PBL、eラーニング 5 指導計画の立案・作成	
2 相談技術	5	1 カウンセリング *受胎調節実地指導員認定講義(5) 2 コミュニケーション 3 意思決定支援 4 アサーティブネス・アサーション 5 ネゴシエーション	
3 健康教育のプロセス	4	1 健康教育の定義 *受胎調節実地指導員認定講義(4) 2 ヘルスプロモーション 3 健康教育の目的と目標 4 健康教育の対象と場 5 個人へのアプローチ (1)場や手段におけるアプローチの違い (2)特定された相談におけるアプローチ 6 集団へのアプローチ (1)集団指導の理論と方法 (2)集団への相談・教育活動の種類 7 健康教育のプロセス (1)準備・計画 ①ニーズの調査 ②目標の設定 ③企画 (2)実施 ①展開方法 ②媒体 (3)評価	
4 マタニティサイクルにおける健康教育 I	5	妊娠期の対象への健康教育 (1)個別の保健指導 ①妊娠初期・中期・末期の保健指導の実際 (2)集団の出産準備教育 ①出産準備教育の意義と動向 ②集団指導の技法と指導者の役割 ③対象のニーズの把握とアセスメント	
5 ライフサイクルにおける健康教育	10	1 ライフサイクルとセクシュアリティ教育の目的と内容 (1)思春期 (2)成熟期 (3)更年期・中年期・老年期 2 セクシュアリティ教育の企画	
評価	1	試験	

評価方法	出席状況、講義・グループワークの参加状況、筆記試験
テキスト 参考資料	医学書院:助産学講座 5 助産診断・技術学Ⅰ 日本助産師会:助産師による思春期の健康教育 医学書院:助産学講座 6 助産診断・技術学Ⅱ[1]妊娠期 日本看護協会出版会:助産師基礎教育テキスト4妊娠期の診断とケア 日本看護協会出版社:助産師基礎教育テキスト 2 ウイメンズヘルスケア 南江堂:今日の助産 メディカ出版:ペリネイタルケア2021年夏季増刊 妊婦健診と保健指導パワーアップガイド
履修上の 留意事項	
備 考	受胎調節実地指導員の申請資格に係る講義である。 (受胎調節実地指導員認定講義カリキュラムを参照)

科目区分	助産診断・技術学	授業科目	健康教育技法Ⅱ
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30 時間)	開講年次	1 年次
目的: ライフサイクルにおける健康支援に必要な基礎的教育技法を習得する。 目標: 1 マタニティサイクルにおける健康教育を企画・展開する技法を習得する。			
授業計画			
単元	時間	内 容	
1 マタニティ サイクルにお ける健康教 育Ⅱ	29	1 産褥期の対象への健康教育 *受胎調節実地指導員認定講義(12) (1)産褥期の保健指導の種類と目的 (2)対象のニーズと把握とアセスメント (3)指導目標の設定 (4)指導計画の作成 ①指導項目の検討と抽出 ②指導方法の検討 ③指導案の作成(導入・展開・まとめ) (5)指導計画の実施と評価	
評価	1	試験	
評価方法		出席状況、講義・グループワークの参加状況、指導案発表、筆記試験	
テキスト 参考資料		医学書院:助産学講座5 助産診断・技術学Ⅰ 医学書院:助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ【2】[分娩期・産褥期] 日本看護協会出版社:助産師基礎教育テキスト2 ウイメンズヘルスケア 日本看護協会出版会:助産師基礎教育テキスト6 産褥期のケア 南江堂:今日の助産 日本家族計画協会:受胎調節指導用テキスト	
履修上の 留意事項		受胎調節実地指導員認定講義のため、受胎調節の指導・実施・評価の演習・討議 を行う。	
備 考			